

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		子ども発達未来塾 津駅西		公表日		2025 年 12 月 10 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			児童が安全かつ安心感を持って頂けるような環境作りに継続して取り組みたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			職員配置数は適切であり、職員は教員や保育士免許などを保持した職員で構成しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		階段が急な点もあり、今後は車いすが移動できるようにするなどさらに改善できる余地はある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			始業前等に施設内外の清掃を随時行い、環境の美化に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			静かな環境での学習を希望したり、騒音や食べ物のおいが気になる児童については別室を使用して頂いています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者の評価結果と併せて分溺死、保護者の思いを大切にした支援や連携の強化に向け、討議提案の上、実施していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			定期的にスタッフ会議を開催し、その場で意見交換を行い、その意見をもとに業務の改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後情報を得て、実施について検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			より幅広い職員に研修の機会を提供し、その内容を全体にしっかり周知できる体制を取っていきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			相談支援事業所などの外部関係機関との連携をさらに強め、支援計画現場の実践に生かされるようにしたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者のみならず、その他の職員とも情報共有を行い、会議においてその児童にとって最善の支援方法について検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			会議を定期的に行い、その場で情報共有を行い、計画をもとに支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		様々なアセスメントツールを取り入れ、現場の計画により生かしていけるように意識して取り組んでいきたい。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			令和6年度より個別支援計画書の書式や記載する内容に変更があったため、放課後等デイサービスガイドラインに沿って内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			今後も職員間で意見を出し合える体制を取り、関係機関との連携を強め、活動プログラムの立案を行いたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			引き続き利用児童が意欲関心の持てる内容にしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			適切に行うと共に、放課後児童クラブ併設の利点を生かして効果的な支援を行えるよう工夫していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日常的に職員間のコミュニケーションをとるようにしている。	職員間のコミュニケーションを図り、継続して引継ぎ等がスムーズに行われるよう工夫していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日常的に職員間のコミュニケーションをとるようにしている。	職員間のコミュニケーションを図り、継続して引継ぎ等がスムーズに行われるよう工夫していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を取りやすいような書式にしている。	職員一人一人が日々の記録を正しく行い、管理者が確認するようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の記録をモニタリングに生かしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインを常に関覧しやすいようにしている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援者側の都合にとらわれず、児童が自己決定できるような場面を作り、支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			今後も会議のみならず、日常的な情報・意見交換に努めていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		問題発生時などに迅速に連絡・連携体制を取るようにしている。	日常的な連絡・連携体制と併せて、状態像や支援内容などの情報共有にも意識して取り組みたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今後も連携を強め、情報収集・提供や学習を深め、相互理解に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		卒業による移行については今まで前例がないが、他の機関への情報提供は行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後は地域の児童発達支援センターとも連携を図り、助言や研修を受ける機会を設定していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			放課後児童クラブが併設されているため、その利点を生かして支援がより効果的に行えるように努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		機会があれば参加し、情報共有をしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等に伝達の機会を持つようにしている。	送迎時における伝達や連絡帳の記録などを基本に相互理解の深まりを目指しているが、今後面談など直接的なかかわりの機会を少しずつ増やしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		保護者との連携を強める動きと併せて検討していきたい。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			今後も保護者に分かりやすく説明できるよう心がけていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			今後も相談しやすい環境や体制づくりに努めていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母会や保護者会は存在しておらず未実施であるが、保護者との連携を強化し、保護者間のつながりの大切さを踏まえ討議の上、側面的に支援していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時にその内容と体制について説明している。	契約時の説明を継続し、苦情等が発生した場合はマニュアルに従い、誠実に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			活動概要や行事予定等の情報は書面やSNS等で発信しているが、今後も引き続き情報発信していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を含む書類等は鍵のかかる書庫に保管している。	個人を特定する内容は発信しない、書類を保管している書庫は施錠するなど、しっかりと個人情報保護に努めているが、常に細心の注意を払い、保護者の意思確認や心情等にも配慮していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			利用者・保護者向けの情報やイベントなども含め、積極的に発信し、情報共有を図り、前向きな取り組みをしていきたい。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現状は未実施であるが、今後は地域住民を招待するような行事について検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルは整備されており、定期的に訓練は行っているが、家族への周知はまだ不十分な点もあるので、さらに周知していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			避難訓練については年に2、3回、定期的に行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			契約時等に服薬や病状などをお伝えしていたき、職員間でも情報共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			おやつや食事を提供する際には生命に関わるものとして緊密に連携・確認を取るようになっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		個々の事例について会議や打ち合わせ時に確認している。	情報を収集・共有し、事故を未然に防ぐ手段として上手く活用できるようにしたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止法の目的や責務を踏まえ、より充実した内容で効果的に実施していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		人権擁護の立場で支援に当たっている。	これまで該当するケースがなく未実施であったが、今後に備えて準備を進めたい。